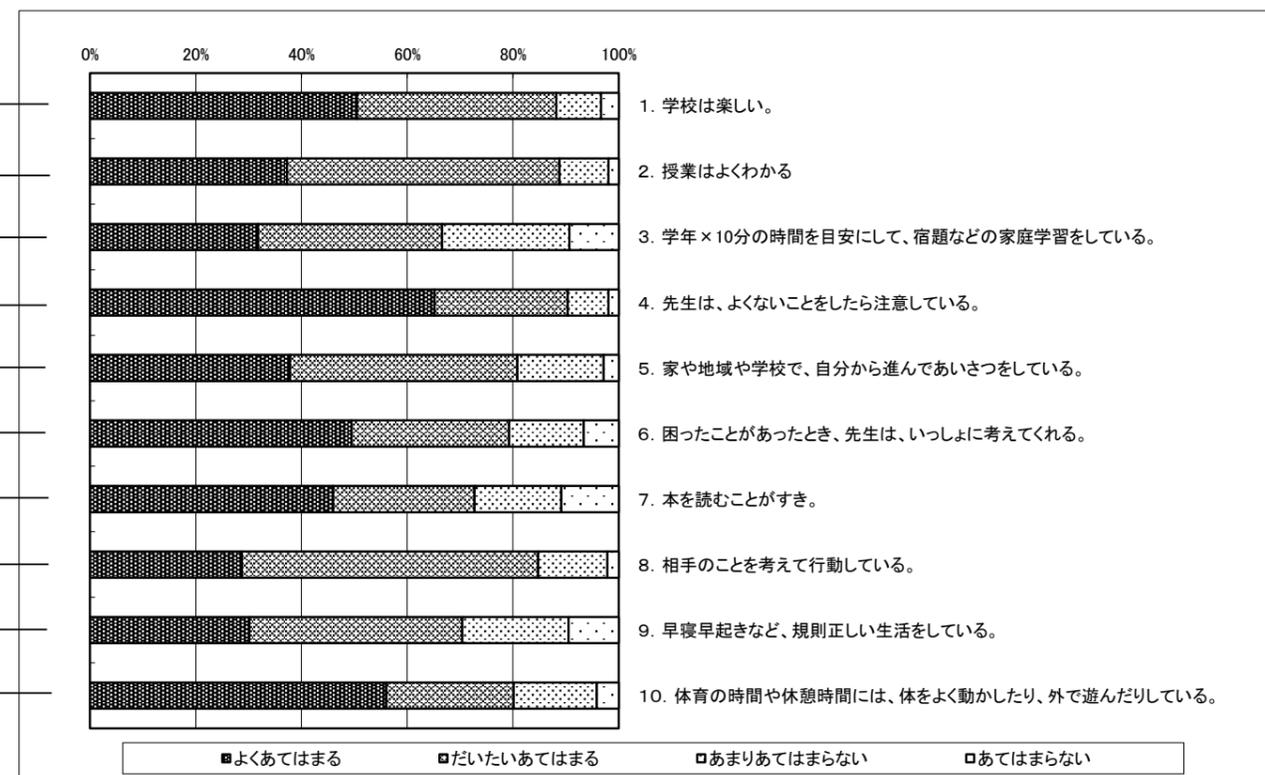
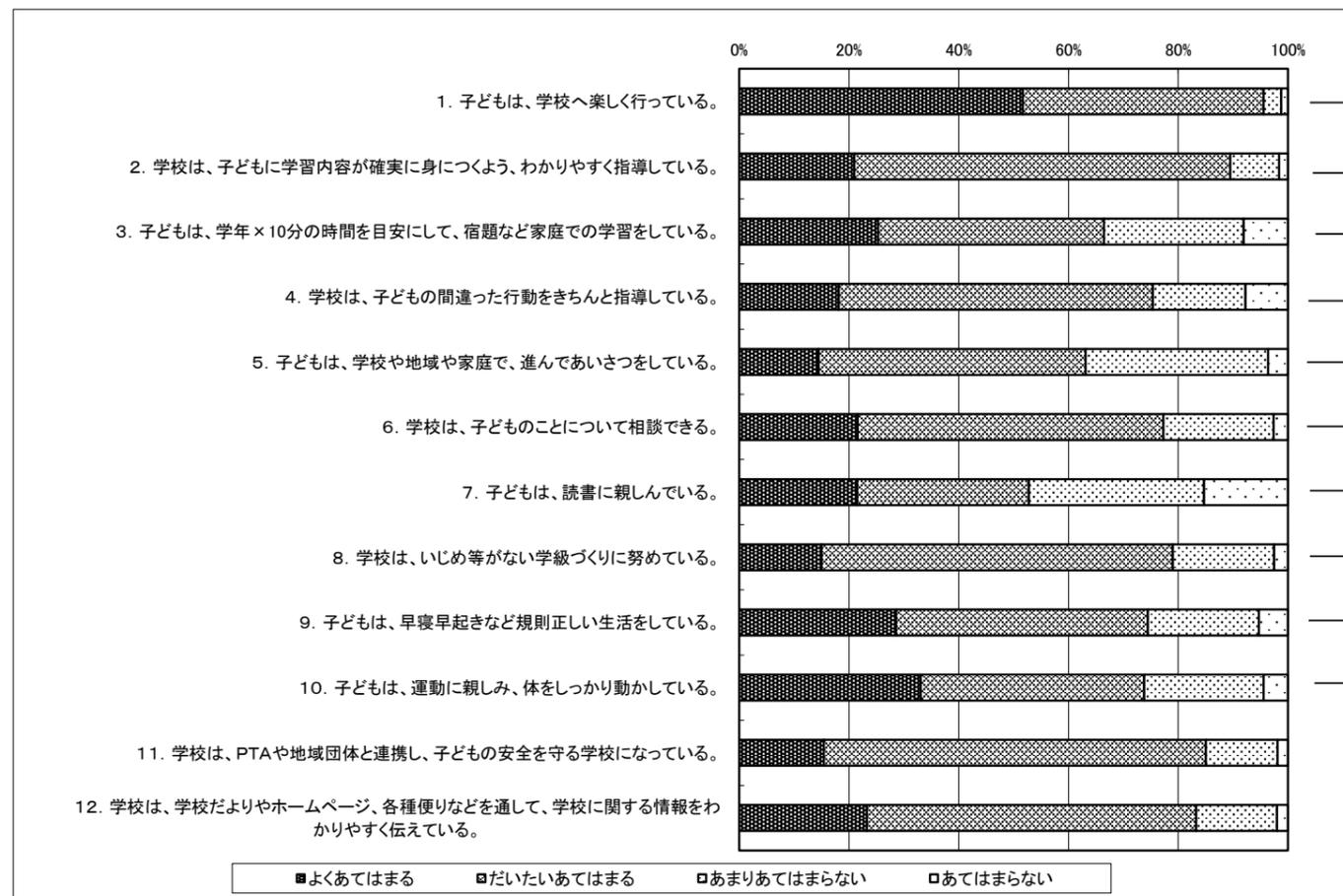


平成28年度 保護者・児童アンケート集計結果

平成28年11月28日～12月2日実施

昨年の11月にはアンケートに協力頂きありがとうございました。アンケートの結果については、児童、保護者ともに「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的評価、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を否定的評価と捉えて結果についてまとめています。保護者アンケートの項目と対応する児童アンケートの項目には _____ を結んでいます。



児童アンケート 回収数 588/596 回収率 98.7%

<結果のまとめ> 保護者アンケート 回収率 825/926 回収率 89.0%

◆保護者アンケートの回収率は89.0%でした。昨年度と比較して「1. 学校は楽しい」「2. 学習指導」「5. あいさつ」「9. 生活習慣」「11. 安全」の項目で肯定的評価が上昇しました。「3. 家庭学習」「6. 教育相談」「8. いじめがない学級づくり」は昨年度とほぼ同じ。「4. 指導」「7. 読書」「10. 運動」「12. 情報」の項目では肯定的評価が低下しました。

◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価の割合が特に多かったのは、「1. 子どもは学校へ楽しく行っている。」で95.6%(昨年度95.1%)でした。これに対応する児童アンケート「1. 学校は楽しい」の結果は肯定的評価の割合が88.2%(昨年度89.5%)でした。また、「2. わかりやすく指導している」で89.5%(昨年度87.2%)、これに対応する児童アンケート「授業はよく分かる」の結果は88.8%(昨年度85.9%)でした。

◆保護者アンケートの中で肯定的評価が特に低かったのは、「7. 子どもは、読書に親しんでいる」で52.8%(昨年度54.2%)でした。対応する児童アンケートでは「7. 本を読むことが好き」72.7%(昨年度78.9%)で低下しました。

◆2番目に評価が低かったのは「5. 子どもは、学校や地域や家庭で、進んであいさつをしている。」で63.1%(昨年40.7%)でした。昨年度に比べ約20%上昇しました。対応する児童アンケートでは「5. 家や地域や学校で、自分から進んであいさつをしている。」79.4%(昨年80.8%)でした。昨年度、保護者と児童の評価に約40ポイントの違いがあり、本年度は文言を見直し「学校や地域や家庭」と場面を明確に表現するよう変更しました。

◆3番目に低かったのは「3. 子どもは、学年×10分の時間を目安にして、宿題など家庭での学習をしている。」で66.5%(昨年度66.7%)です。一方、児童アンケートの「3. 学年×10分の時間をめやすにして、宿題などの家庭学習をしている。」は66.6%(昨年度68.8%)でした。肯定的評価が保護者、児童ともにやや低下しているという結果でした。上記グラフには表れませんが、学年別集計より、高学年ほど学年×10分の学習時間を確保する割合が下がる傾向が見られます。これらの3項目については、学校の考え方や取組を引き続き保護者に呼び掛ける等して、学校と家庭の連携を強化していく必要性があります。

◆「読書に親しむ」については、前年度に比べ児童アンケートの結果が約6ポイント低下しており気になるところです。朝読書の取組や読書ボランティアによる取組は定着しています。また本年度は図書室のリニューアルも実施し、読書に親しめる環境が整備されました。国語科の学習、図書室の運営、図書ボランティアの方との連携を更に充実し、子どもたちに読書の楽しさに触れられるよう工夫していきたいと考えます。

◆学力向上については、保護者アンケート「2. 学校は、子どもの学習内容が身につくよう、わかりやすく指導している。」は、89.5%(昨年度87.2%)でした。一方、児童アンケート「2. 授業はよくわかる」は、88.8%(昨年度85.9%)でした。児童自身が学習による伸びを実感できるよう、本年度は「学び合い学習」を進めると共に、「めあて」「ふりかえり」に焦点化して学習活動を実践してきた成果が現れてきていると考えます。職員による授業改善にむけた研修・実践に引き続き取り組み、児童が学んだことを定着できるよう努めていきたいと考えます。

家庭学習については、前述の通り保護者・児童アンケート共約66%という結果です。確かな学力の定着をめざし以前から保護者の方に配布している「家庭学習の手引き」の内容を広くご理解頂けるよう努めると共に、宿題等の内容についても見直ししていきたいと考えています。

◆体力向上については、保護者アンケート「10. 子どもは、運動に親しみ、体をよく動かしている。」の項目で73.8%、児童アンケート「10. 体育の時間や休憩時間には、体をよく動かしたり、外で遊んだりしている。」の項目で80.1%という結果でした。本年度より、家庭学習のひとつに、新たに「体育の宿題」を位置づけています。学校の体育の学習内容をご家庭でも練習したり、一緒に体を動かして頂きたいと思えます。

◆保護者アンケートの「8. 学校は、いじめ等がない学級作りに努めている」と児童アンケートの「8. 相手のことを考えて行動している。」については、肯定的評価の割合が共に約80%になっています。高い割合を維持していますが、今後も「いじめは絶対許されない」という指導を徹底していきたいと考えています。

◆保護者アンケート「9. 子どもは早寝早起きなど規則正しい生活をしている。」の項目では肯定的評価が74.5%に対し、児童アンケート「9. 早寝早起きなど、規則正しい生活をしている。」の項目で70.4%という結果でした。学年別に見た場合、高学年になるにつれて基本的な生活習慣が乱れる傾向が見られます。基本的な生活習慣と学習意欲は関わりがあるといわれています。今後も家庭や各校園と連携しながら、取組を進めていきたいと思えます。

※保護者および児童アンケートの結果を活用した自己評価と改善策等につきましては、裏面の「平成28年度 唐崎小学校学校評価書」をご覧ください。